

令和5年度 技術者交流会 実施報告書

1. 技術者交流会について

過年度に実施した現場見学会や各種講習会を通じ、同業他社の技術者との面識を持ち、日々の業務状況や悩みを共有することは有意義かつ刺激があると感じています。

上下水道に係る技術者として、業界のありかたや今後の展望などを議論することで、技術者としての更なる資質向上につなげていただきたいという思いから本交流会を実施しました。

【令和5年度 技術者交流会プログラム】

I. 開催日時

令和5年9月8日（金） 18：00～20：00

II. 開催場所

北海道海鮮にほんいち

III. 開催要領

- ・現場見学会の解散場所（本町）付近にて場を設定しました。
- ・飲食しながらの和やかな意見交換会を目指しました。
- ・意見交換は、技術的な話題だけでなく、業界の展望や日々の悩み相談など同業者ならではのテーマとし、議論しやすい場の構築を目指しました。

IV. スケジュール

表-1 技術者交流会 スケジュール

No.	議題	該当者	時間
1	本会の趣旨説明	西尾	18：00～18：10
2	開会挨拶、乾杯	白阪部会長	〃
3	自己紹介 （会社名、氏名、担当職種、思い出深い設計実績（若手はやってみたい業務）、会社自慢 等）	参加者全員 （技術部会含む）	18：10～18：40 （30分）
4	フリータイム		18：40～19：05 （25分）
5	意見交換 ①上下水道コンサルタントの今後について ②人材不足について （どうやったら人が集まるか） ③コンサルでよかったこと （つらかったこと） ④どうする DX、BIMCIM	ディスカッション方式 （各テーブルを小グループとして代表が発表）	小グループ議論 19：05～19：35 （30分） 各グループ発表 19：35～19：55 （20分）

	⑤その他意見		
6	閉会挨拶	栗原副部長	19：55～20：00 (5分)
	解散（アンケート配布）		

2. 出席者

今回は同日に行われた施設見学会に引き続いての催しとしましたが、施設見学会に参加いただいた29名のうち21名に参加いただきました。

3. アンケート調査結果

アンケート調査では参加者21名中20名の方から回答を頂きました。

「参加理由」については、「他社との交流に興味があった」が75%を占めており、今回のような技術者交流会に対する潜在的なニーズがあることを実感しました。

「次回の技術者交流会への参加」については、「ぜひ参加したい」(20%)、「タイミングが合えば参加したい」(40%)及び「内容によっては参加したい」(25%)が合わせて85%を占め、一定の評価はいただいたものの、内容については改善の余地があるとも感じました。

「よかった点」については、「他社の意見を聞いたこと」といった意見が多く見られましたが、対象が自分と異なる年齢層や職種である場合やその逆の場合もあり、それぞれに意義があると感じました。その他、「あらかじめ議題を決めていたこと」が複数挙げられており、議題を決めていたことに関して一定の評価は得られたように感じました。

「改善点」については、「席の移動ができるようにし、他の方とも交流できた方がいい」、「議題が多すぎて普通の交流ができない」、「テーブルごとの意見発表は不要」、「発表を伴う意見交換は飲食をしながらやるものではない」といったご意見をいただきました。

また、会場が個室でなかったため、発表者の声が聞こえにくいといった課題も残りました。

「次回開催に向けての課題の提案」としては、「海外進出に向けた取り組み方」、「各社の仕事の進め方や効率化等」、「技術教育」、「技術導入（特にBIM/CIM）」、「建設コンサルタントとして必要なスキル」、「先輩の苦労話」、「仕事の悩み」、「技術士に関すること」、「水コンサルタントをもっと認知してもらうためには」といったご意見を頂きました。

今回頂いたご意見を踏まえ、よりよい技術者交流会とするため技術部会での議論を重ねていきたいと思っております。

4. 最後に

今回、初めての試みということで、上手くいくか懸念していましたが、参加頂きました皆様の積極的な議論によりとても有意義な会になったと感じております。参加された方におかれましては、深く感謝申し上げます。

今回の経験をふまえ、更に良い交流会としたいと思っておりますので、次回もぜひご参加いただけるようお願いいたします。

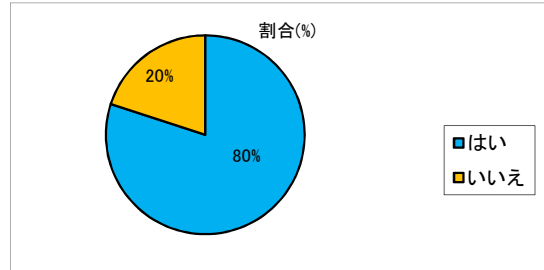
令和5年度 関水コン 技術者交流会 アンケート集計結果

実施日 令和5年9月8日（金）

3. 技術者交流会についてお聞かせ下さい。

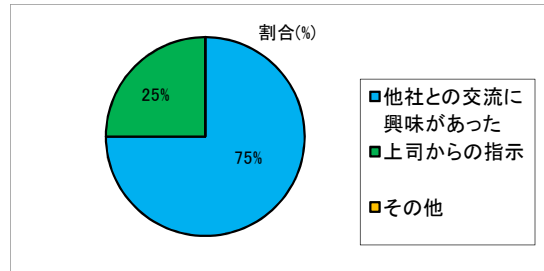
Q9. 技術者交流会に参加しましたか。

	回答数	割合(%)
はい	20	80%
いいえ	5	20%
計	25	100%



Q10. 参加理由についてお聞かせ下さい

年数	回答数	割合(%)
他社との交流に興味があった	15	75%
上司からの指示	5	25%
その他	0	0%
計	20	100%



Q11. 本取り組みのよかった点をお聞かせください。

・食事しながらの交流会であったため、初対面の方とも腹を割った会話が出来たと感じる。また、テーマを決めて議論する時間もあり、それぞれの会社の特色や自身には無い考え方を知れたことが良かった。
・最近の話題に対し他者の意見を聞くことが出来たので良かった。
・他社と話す機会がないので、貴重な機会となった。
・意見交換会で各社で腹を割って話をする機会は今までなかったためとてもありがたい機会でした。今後もこのような機会を設けていただけると幸いです。
・同じ建築の方であり問題個所や悩んで知る事が共有でき大変良かったです。
・年齢や工種の面で、自社にはいない技術者と交流できたことはとても刺激的でした。
・予め、議題を決めてくださったので会話に詰まることなく、話をする事ができ、他コンサルの悩みや思うことを共有することができたので良かった。
・同業種の話が聞けたことと、若手の話も聞けたため。
・他社の技術者の考え方等が垣間見れた。（基本的に、同じような場面で同じようなことを考えていると）
・同年代の方と会話できた点。
・外部の人と交流できるという点は良いと感じました。
・同業の方々と建設コンサルタントについて話すことができた点
・ある程度のお題を設定した点。
・他社の同職種（自分の場合建築）の方と話をする機会は大変貴重で、年上のベテランの方が1名いたため、悩み等も質問出来て有意義だった。
・それぞれのテーブルに同じ会社の人がかぶらないように配置されていた点
・同世代の他社の方と交流して、モチベーションが上がった点。
・他社の状況を知れた点
・事前の勉強会や説明、最後の質疑
・他社のBIM/CIMに対する考え方を知ることができた。弊社にはない部署の話が聞けた。
・普段聞けない話が聞けたこと。

Q12. 本取り組みに関する改善点があればお聞かせください。

・今回の交流会では、席が決められており移動が無かったが、他の方達とも交流出来る様に席移動の機会があれば良いと感じた。また、技術部会の方たちの仕事への考え方や、意識すべき点などをお話頂ければ、今後の業務に対する意識をより良いものに出来るのではないかと思います。
・若手が多めだと感じましたが、経験年数から上手くグループ分けが出来ればよかったですのではないのでしょうか。
・もう少し多くの人に話掛ければよかったです。
・他の班の方と話す機会がなかったので途中で班の入れ替えがあると嬉しいです
・懇親会での課題が少し多かったので今度は他の方と飲める時間があれば良いと思います。
・入社して間もない方（今年4月入社）は話についていけない場面があったように感じました。話す内容について、若手社員が意見しやすい議題（人材確保、待遇面への期待など）と、経験がある社員が意見しやすい議題（技術教育、業界の今後など）のバランスが大切であると感じました。今回は施設見学会後でもあったため、施設見学に関する内容を議題とすることも良いと思います。
・テーブルごとの意見発表は不要かと思いました。意見を共有することであれば、意見交換会のプログラムに含める方が良かったのではと思いました。
・発表を伴う意見交換は、飲食をしながらやるものではない。
・個人的には議題がなくても会話は可能だと思います。議題を用意するなら結果を集計すべきであり、会議室で行えばよいと思います。しかし、そういう意味での交流会に積極的に参加したいと思う若手技術者が少ないこともまた事実だと思います。
・席で担当分野の比率が同じならもう少し話しやすかったと感じました。
・今回のものは良かったと思います。
・設定時間に対してトークテーマが多く、それに縛られているように感じたため、時間を伸ばす、もしくはトークテーマを減らした方が良いのかなと感じた。
・ディスカッションは良かったが、リーダーの発表はいらないと感じた
・議題が少し多すぎると、普通の交流があまりできなかった。もう少し、議題数を減らすか、議題無し of 交流の時間を別に設ける方が良いと思った。
・もう少しゆっくり話が出来ればよかったです。
・居酒屋で話すには発表する議題が多く、発表者の負担が大きいうように感じたので、議題を絞るか後日アンケートが良いと思います
・宴会前にディスカッションを開いていただき良かったです。

Q13. 次回開催に向けて議題の提案がございましたらお聞かせください。

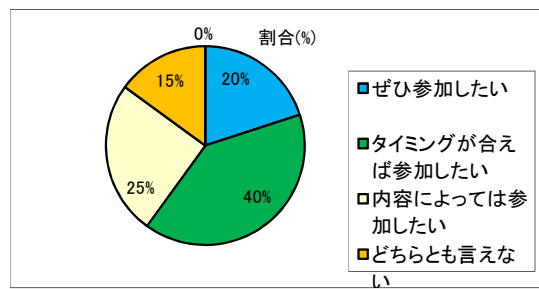
・会社の利益を伸ばしていくためにも、市場を海外に広げていく必要があると感じる。そのために、海外進出に向けた取り組み方を議題として提案する。
・各社の仕事の進め方や効率化等に対する意見を聞いて見たいです。
・今回の内容でも大変良かったと思います。
・技術教育について、技術導入（特にBIMCIM）について
・建設コンサルタントとして一人前になるために必要なスキルとは
・若手に向けては、先輩の苦労話し、打開策（今思うと）等が有効的かと思います。
・仕事の悩みなど
・技術士に関すること。また、実際に技術士を取得しておられる幹事の方に、フィードバックをもらいたい。
・水コンサルタント（建設コンサルタント）をもっと認知してもらうにはどうすればよいか。

Q14. 開催方法に対する意見がございましたらお聞かせください。

・対面希望
・食事をしながらの方が本音を話しやすいと思うのでよかったですと思います。
・今回の開催方法が良いと思います
・今回は施設見学会に付随した交流会と認識していますが、交流会単独での実施も良いと思います。
・新人の割合が多いと有意義な意見交換になりにくい。
・定期的な開催が有効と感じました。他社コンサル雰囲気も感じる事ができ、転職しても似たようなところが多いという空気を感じることが出来るかもしれない。
・共に食事をすることで、普段より会話は弾んだ。ただ、自分が発表者なら会話を楽しむ余裕はなかつたろうと思う。

Q15. 次回も技術者交流会に参加したいと思いますか？

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ参加したい	4	20%
タイミングが合えば参加したい	8	40%
内容によっては参加したい	5	25%
どちらとも言えない	3	15%
参加したくない	0	0%
計	20	100%



Q16. その他ご意見ご要望がございましたらお聞かせください。

・他社の方と気軽に連絡を取ることが出来る関係作りのためにも、交流会の定期開催を要望する。
・案内があれば、ぜひ参加したい。
・お忙しい中開催して頂いた事務局の方に大変感謝致します。
・入社5年目あたりまでの社員の交流の場があれば、参加したいです。
・技術者同士の交流の場と考えます。続けましょう。